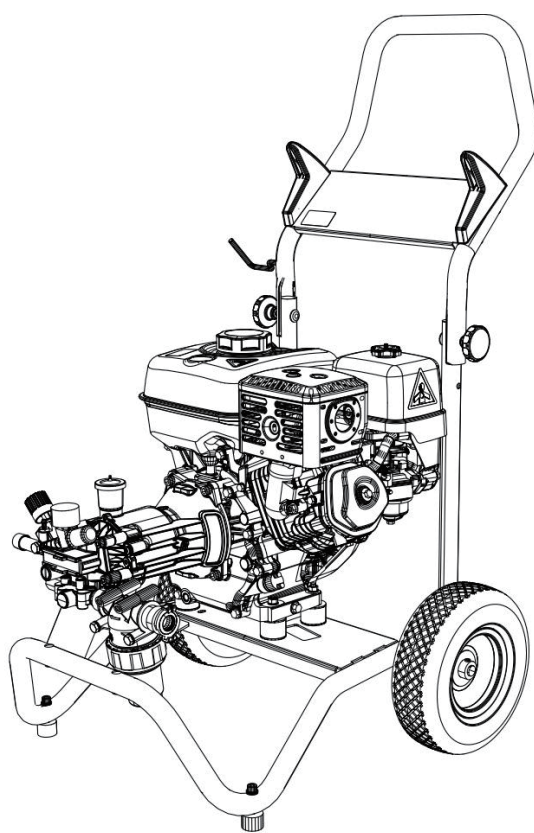


KÄRCHER

ケルヒャー業務用高圧洗浄機 取扱説明書 HD 8/20 G



EASY!Lock

1 x 360°

この度は、ケルヒャー業務用高圧洗浄機をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
ご使用前に取扱説明書を良くお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。



注意

初めてもしくは長期保管後に使用する場合は慣らし運転を
行うこと
必ずエンジンの慣らし運転を約2分間行ってください。
慣らし運転を行わない場合、エンジンが損傷します。

HD 8/20 G EASY!Lock
202210

◆もくじ

安全上の注意	3～9
仕様および標準装備品	10
安全装置について	11
各部名称	12～13
準備しましょう	14～17
使用前点検	18
動かしましょう	19～21
作業を中断する場合	22
ため水を使用する場合	23～24
洗浄剤を使用する場合	25
作業を終了する場合	26～27
冬季・長期間の保管	28
凍結防止	29
メンテナンス	30～33
トラブル対応	34～37
ユーザー登録・保証	38
お問い合わせ先	39
補修部品	40
修理	41
アクセサリーの取り付けについて	42～43

安全上の注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で注意事項を説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



注意

洗浄は自己責任にて行うこと

万一洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。



ご使用時の警告



火気を近づけないこと

燃料を補給する際や燃料タンクの付近ではタバコを吸ったり炎や花火などの火気を近づけないこと。

また、衣服で帯電した静電気を除去すること。

爆発や火災の原因になります。

引火性物質を吸引、噴霧しないこと

灯油、ガソリン、オイル、ワックス、塗料など油性の液体や薬品などの液体は吸わせないでください。

爆発や火災の原因になります。

可燃性のある物を近くに置かないこと

紙くず、木くず、油脂類、石油製品、火薬などの危険物を近づけないでください。

爆発や火災の原因となります。

子供には触らせないこと

ケガをする場合があります。

また、事故や機械の損傷の原因となる場合があります。

訓練を受けた作業員以外使用禁止

使用方法を誤ると重大事故の原因となります。

人体に向けて高圧水を使用しないこと

人体に向けて高圧水をかけないでください。

皮膚の裂傷、失明、難聴になる場合があります。

飲酒時には使用しないこと

運転を誤ると重大な事故やケガを生じる恐れがあります。

運転中に燃料を補給しないこと

燃料がこぼれ、引火する恐れがあります。

燃料の補給は必ずエンジンを停止して行なってください。



ご使用時の警告



改造禁止

火災、感電、ケガの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

無鉛ガソリン以外は使用しないこと

他の燃料などを使用すると故障の原因となります。

長期保管したガソリンは使用しないこと

酸化劣化・水分の含有により変質ガソリンとなりエンジンを壊す場合があります。

運転中や停止直後はエンジン本体やマフラーなどに触れないこと

やけどや火災の原因になります。

また、高圧ホースが高温部分に触れると溶ける恐れがありますので、ご注意ください。

エンジンの上部に物を置かないこと

運転中も運転していない時もエンジンには物を置かないでください。火災や、変形などによる思わぬ事故の原因となります。

屋内や換気の悪い場所で使用しないこと

換気の悪い場所（室内、車内、倉庫、トンネル、井戸、船倉など）で使用した場合一酸化炭素中毒を起こす恐れがあります。必ず換気の良い場所で使用してください。

電装部品に水をかけないこと

感電する場合があります。

高圧ホースを化学物質に触れさせないこと

外皮が損傷します。



ご使用時の警告



安定した水平な場所で使用すること
機械が倒れ、火災や思わぬ事故の原因となります。

燃料は所定のレベルを超えないように補給すること
万一燃料がこぼれた場合は、きれいにふき取り良く乾かしてから
エンジンを始動してください。

作業を中断する場合はエンジンを停止すること
エンジンをかけたまま放置すると、ポンプが高温になり故障の
原因となります。

作業を中断・終了する場合は必ずトリガーガンの安全
ロックをロックすること
誤って高圧水が噴射され、思わぬ事故が生じる場合があります。

汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスク
などの適切な防護具を身に着けること
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

エンジンは定期的にメンテナンスを行なうこと
メンテナンスを行なわないと故障の原因となります。
また、メンテナンスは必ずエンジン本体・マフラーが冷めている
状態で行なってください。

修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと
個人の修理は事故のもとになる恐れがあります。

ご使用時の注意



本体、エンジンに水をかけないこと
故障の原因となります。

酸性洗剤、アルカリ性洗剤、農薬、消毒液などを使用
しないこと

機械の故障の原因となります。

ノズルを停止して同じ部分を洗浄しないこと
高圧水により対象物が損傷する場合があります。

他機種 of ノズルを兼用しないこと
(オプションアクセサリーを除く)
故障の原因となります。

シートなどを本体にかぶせて使用しないこと
発火もしくはエンジンが壊れます。

洗浄機を通過した水は飲まないこと
飲料には適しません。

エンジンに異常がある場合は使用しないこと
白煙、黒煙が連続的に発生する場合は使用しないでください。
火災、健康被害の原因となります。



ご使用時の注意



作業に適した服装、保護具を身につけること

ゴーグル・防音具・保護手袋・安全靴を必ず装着してください。
異物飛散によるケガを防止します。

自家水道で井戸水などを使用する場合は別売りのフィルターを使用すること

異物の混入による機械の故障を防ぐためにご使用ください。

ため水を使用する場合は別売りのフィルターとサクシオンホースセットを使用すること

使用しない場合水道ホースがつぶれ機械の故障の原因となります。
異物の混入による機械の故障を防ぐためフィルターも必ず併用してください。

洗浄を行う場合には事前にテストを行なうこと

洗浄対象物の状態を確認する為に洗浄テストを行ってください。
事前テストを行わずに使用した場合、塗装面や素材が損傷する場合があります。

洗浄対象物に適した距離で洗浄を行なうこと

ノズルを近づけすぎた場合、高圧水により対象物が損傷する恐れがあります。

周囲の安全に気を配って使用すること

水を出す瞬間反動があります。周囲に気を配りトリガーガンをしっかり握ってください。

給水温度は最高60℃まで

60℃以上の水を給水した場合、機械の故障の原因となります。
30℃以上は性能が低下することがあります。

純正洗浄剤を使用すること

必ずケルヒャー純正の高圧洗浄機用洗浄剤をご使用ください。
純正洗浄剤以外を使用して生じた故障は保証の対象外となりますので
ご注意ください。

本体は大切に扱うこと

ホース類を無理に引っ張ったり、本体を落下させたりしないように
してください。本体が損傷します。



ご使用時の注意



初めてもしくは長期保管後に使用する場合はならし運転を行なうこと

エンジン内部にオイルが行き届く前に高速運転をおこなうとエンジンが壊れる場合があります。

必ずならし運転を約2分間行なってください。

ノズルの取り替えはエンジンを停止し、トリガーガンの安全ロックをロックして行なうこと

トリガーガンの安全ロックが解除されている状態でノズルの交換を行なうと、誤ってレバーを握り思わぬ事故を引き起こす場合があります。

高圧ホースの取り付け

●使用前に高圧ホースのナット部分に緩みが無いか確認してください。

●使用中もしくは圧力がかかった状態で高圧ホースのナット部分を無理に回さないでください。思わぬケガや火傷を生じる恐れがあります。

高圧ホースの取扱いは注意すること

高圧ホースは折らないでください。破損の原因となります。

作業を行なう前に高圧ホースをまっすぐに伸ばしてご使用ください。必ず純正高圧ホースをご使用ください。

他社製品を使用した状態での事故・損傷についての苦情はお受けできません。

摩擦の強い床面、コンクリートの打ち放しや砂利・碎石を敷き詰めた路面（デコボコの床面）で使用する場合には、ゆっくり高圧ホースを動かしてください。

ブロック、レンガ、塀の角での高圧ホースの折れ、強い摩擦は避けてください。

高圧ホースに異常（深い傷や折れ曲がりなど）がある場合は使用しないでください。

本体または高圧ホースが異常に振動していると感じた場合は使用を中止し点検を依頼してください。

ガソリンは必ず専用容器で保管すること

保管中の缶には、必ずふたをしてください。

また、直射日光を避け、水分の混入を避けて保管してください。

仕様および標準装備品

HD 8/20 G 仕様	
動力	ガソリンエンジン ホンダ GX 270
エンジン出力	6.6kW, 9HP
吐出圧力	20 Mpa *
吐出水量	750 L/ 時間
燃料タンク容量	5.3 L
最高給水温度	60 °C
長さ×幅×高さ	800 x 620 x 1,105 mm
本体重量	53 k g
自給高さ	最大 1m
騒音値	108 dB

* 1 Mpa = 1 0. 2kg f / cm²

標準装備品	
トリガーガン	1 個
高圧ホース (15 m)	1 本
スプレーランス (AVS 付き 840 mm)	1 本
パワーノズル	1 個
洗浄剤ノズル	1 個
水道ホース (内径 18 mm 7.5 m)	1 本
	※ホースバンド 2 個付き
ゲカカップリング	※本体取り付け済み 1 個

ポンプ・ギアオイル 型式 オイル量	注文番号:6.288-050.0(1.0 L) 15 W 40 0.35 L
エンジンオイル 型式 オイル量	注文番号:6.288-050.0(1.0 L) 15 W 40 0.9 L

※ポンプから一分間当たり 1 0 滴程度の水漏れがある場合がありますが異常ではありません。

※ポンプ、エンジンからオイルがにじむ場合がありますが異常ではありません。

※汎用エンジンはエンジンオイルの消費が激しいためオイルの量を毎日確認してください。

※ホース・コード類の長さに関して、実寸を± 5%の範囲で設定しております。

安全装置について

■オーバーフローバルブ

- トリガーガンを離すと、オーバーフローバルブが開き、水が吸引側に送られます。
これにより、ポンプ内圧を落としポンプの損傷を防止します。

■エンジンオイルセンサー

- エンジンオイルが減少するとエンジンを強制停止します。
停止した場合はエンジンオイルを一度抜き規定量を入れ点検後ご使用ください。

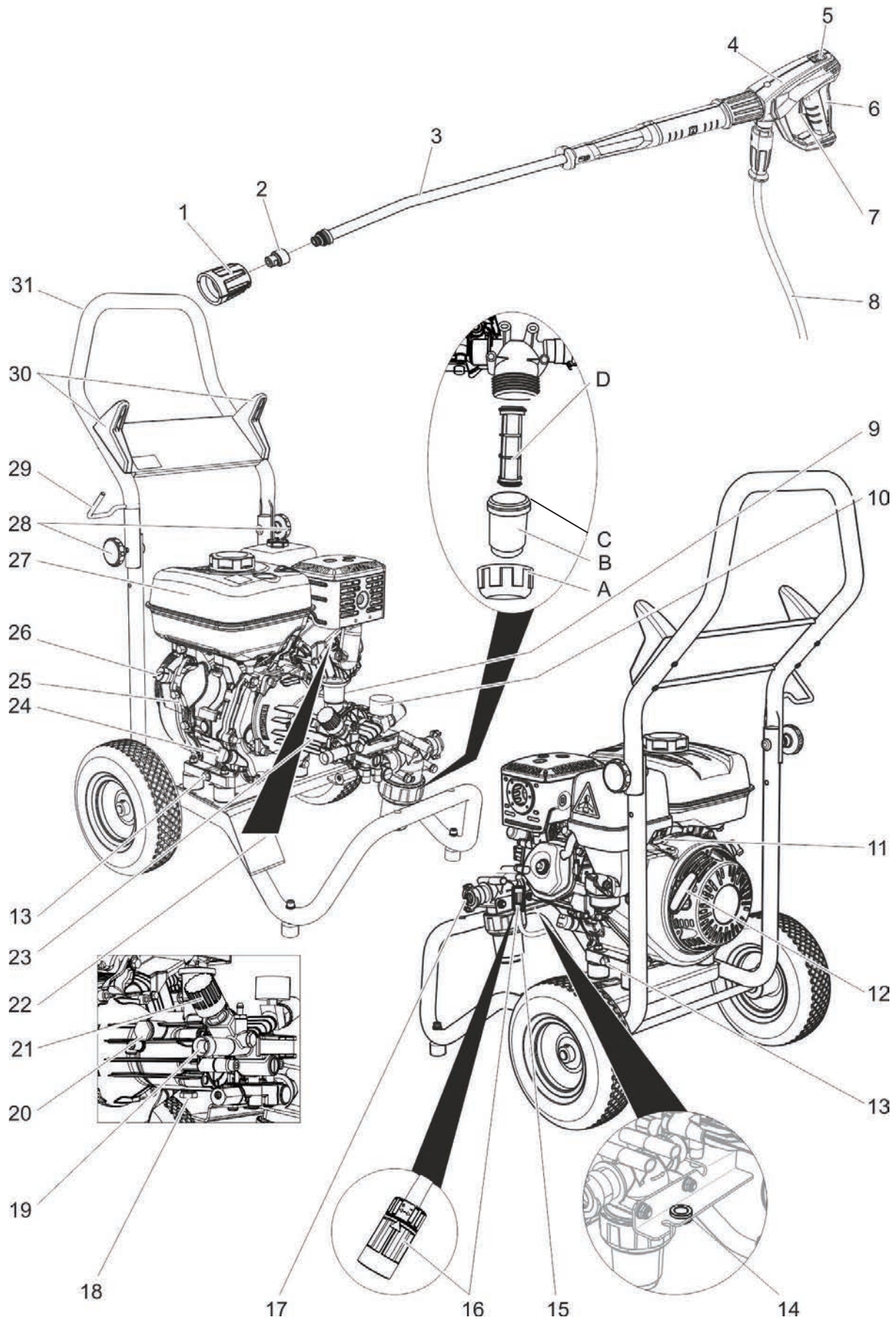
■安全バルブ

- 安全バルブも、過度の圧力から高圧ポンプを守るための装置です。
–安全バルブは密閉されていますので、手を触れないでください。

■サーモバルブ

- 約 10 分間トリガーガン进行操作しない場合は高圧ポンプに取り付けられているサーモバルブが作動しポンプがオーバーヒートしないように過熱した水をポンプ外に強制排出しポンプを冷却します。

各部名称

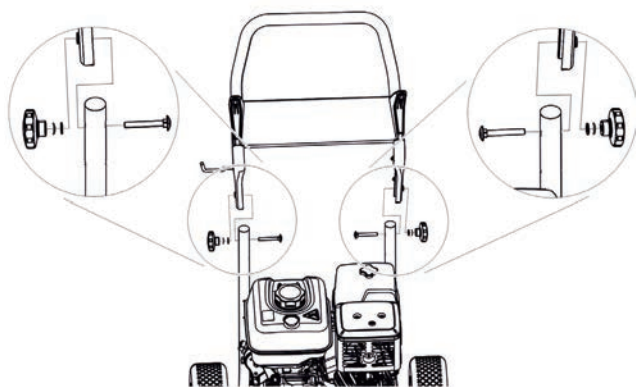


-
- | | | |
|----|----------------------|--------------------|
| 1 | ノズルホルダー | |
| 2 | ノズル | A ナット |
| 3 | スプレーランス | 注文番号 6.385-053.0 |
| 4 | トリガーガン | B フィルターカップ |
| 5 | 安全ロック | 注文番号 6.414-051.0 |
| 6 | トリガー | C Oリング |
| 7 | 安全レバー | 注文番号 6.363-700.0 |
| 8 | 高圧ホース | D フィルター |
| 9 | オイルタンク | 注文番号 6.414-053.0 |
| 10 | 圧力計 | |
| 11 | 燃料コック | |
| 12 | リコイルスターター | |
| 13 | オールドレインスクリュー | |
| 14 | ノズルホルダー | |
| 15 | フィルター | |
| 16 | 洗浄剤吸引ホース（フィルター付き） | |
| 17 | 給水ホース接続口（ゲカカップリング付き） | 注文番号 6.388-458.0 |
| | | ※水道水用。自吸には使用できません。 |
| 18 | オールドレインスクリューポンプ | |
| 19 | 高圧ホース接続口 | |
| 20 | オイル確認窓 | |
| 21 | 圧力調整バルブ | |
| 22 | スプレーランスホルダー | |
| 23 | ポンプ | |
| 24 | オイルタンクキャップ | |
| 25 | エンジン | |
| 26 | エンジンスイッチ | |
| 27 | 燃料タンク | |
| 28 | ハンドル留め具 | |
| 29 | トリガーガンホルダー | |
| 30 | 高圧ホースホルダー | |
| 31 | ハンドル | |

※外観・仕様は開発・改良により予告無く変更することがあります。

※黄色い部品はお客様が清掃時に操作される部分です。

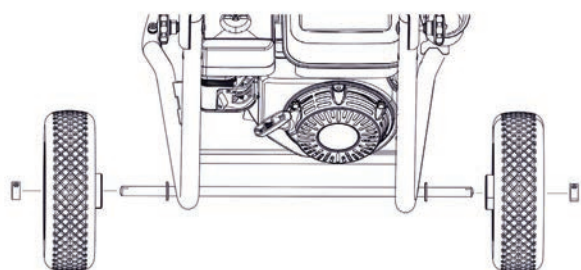
準備しましょう



<ハンドルの取り付け>

本体の左右のパイプにハンドルを挿入してください。

ハンドルをボルト、ワッシャー及びナットで固定してください。



<タイヤの取り付け>

タイヤのバルブを外側にして、本体から出ている軸にタイヤを挿入してください。

しっかり奥まで挿し込んでください。

タイヤの外側からタイヤ固定リングを挿入しネジをしっかりと締めてください。



本体にタイヤを取り付ける際は、本体を上下逆さまにしたり、前後左右に倒したりしないでください。



締め付けが緩いと、移動時や作業中にタイヤが外れ、事故につながる可能性がありますので、ご注意ください。



注意

- 高圧ホースの取り付けに緩みがないことを確認してください。
- 高圧洗浄機の電源を切って作業してください。
- トリガーガンのレバーを握らずに操作してください。



<高圧ホースの接続>

■ 本体側

高圧ホースのOリングに脱落、損傷がないことを確認し高圧ホース接続口に接続してください。
約1～2回転で固定します。



■ ガン側

1. トリガーガンの高圧ホース差し込み口に高圧ホースを差し込んでください。

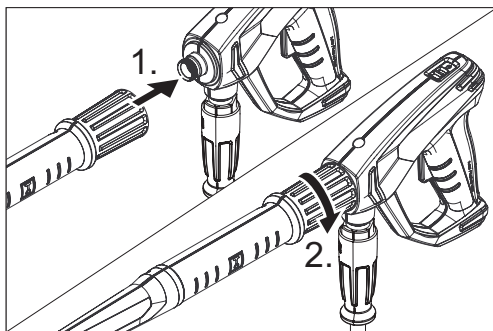


2. 高圧ホース端部のナットを止まるまで回してください。約1.5回転で固定します。

高圧ホース端部のナットを緩みがないよう、しっかりねじ込んでください。

■ 高圧ホースを長くしたい場合

別売の延長高圧ホース（10m / 20m）と接続カップリングをご使用ください。



<スプレーランスの接続>

1. トリガーガンにスプレーランスを差し込みます。

2. スプレーランスの端部（ナット）を止まるまで回してください。約1回転で固定されます。



安全ロックを前方にスライドし、トリガーをロックしてください。

トリガー



<ノズルチップの取り付け>

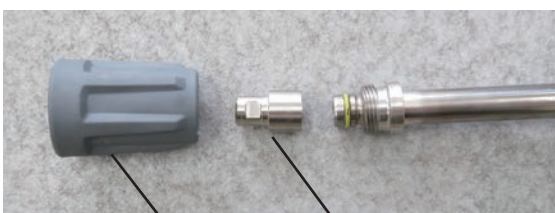
スプレーランスノズル挿入部位のOリングに損傷がないか確認してください。

※口径の大きい方が洗浄剤散布用(低圧)ノズルです。



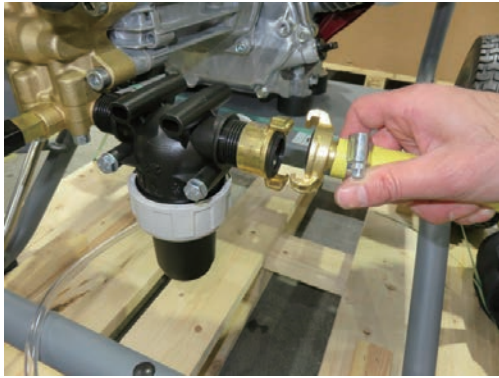
ノズルチップの側面切欠き位置により高圧広角水流の向きが変わります。

ノズルチップの水流を洗浄方法に合わせた後、ノズルホルダーで固定してください。



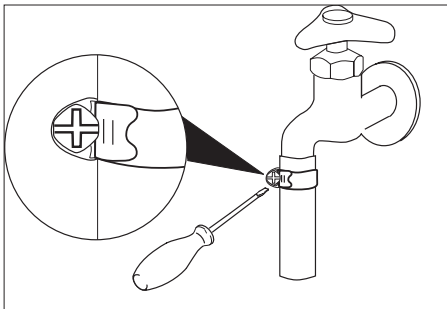
ノズルホルダーを回し、固定してください。
約1回転で固定出来ます。

ノズルホルダー ノズルチップ



＜水道ホースの取り付け＞

本体の給水ホース接続口に水道ホースを取り付けます（本体側にカップリングが付いています）。ホース側のカップリングはホースバンドでしっかり固定してください。



水道ホースのもう一方の端を蛇口に差し込み、ホースバンドでしっかり固定した後、水道栓を全開にしてください。

注意

ゲカカップリングは自吸には使用できません。



ゲカカップリング（本体側）
注文番号 6.388-458.0



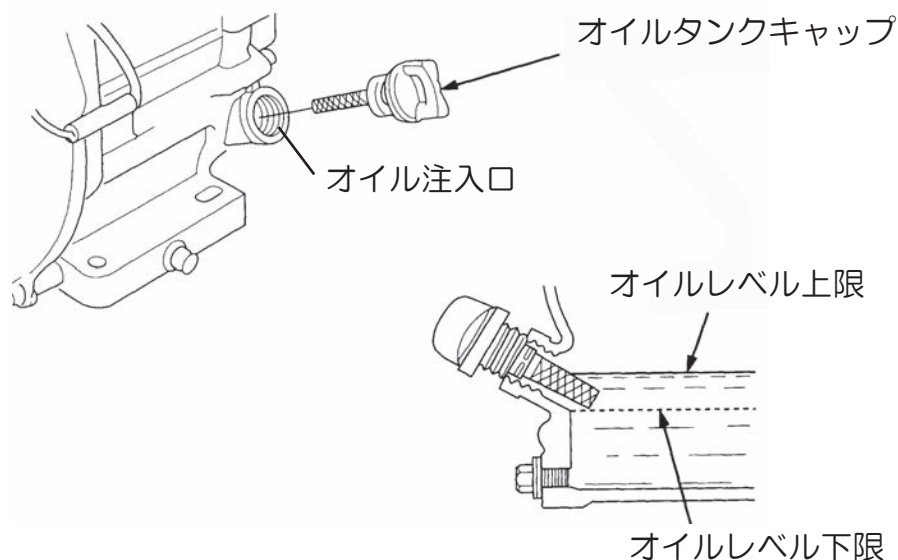
ゲカホースカップリング（ホース側）
注文番号 6.388-455.0

使用前点検



使用前に毎回点検を実施してください。
点検は必ずエンジンを停止した状態で行なってください。

エンジンオイルの量と汚れのチェック



※オイル量をチェックする際は本体を水平な場所に置いてください。

- ①オイルタンクキャップを取り外し、余り布などで付いているオイルを拭き取ってください。
- ②そのままオイルタンクキャップをオイル注入口に挿入し、オイル量をチェックしてください。
- ③オイル量が少なくなった場合は、オイル注入口の下端までオイルを補充してください。
- ④オイルが汚れている場合は交換してください。
- ⑤オイルタンクキャップを閉めてください。

※エンジンオイルの注文番号は補修部品リストをご確認ください。

ガソリンの補給

エンジンにガソリンが充分入っているか確認してください。

ガソリンが少なくなっている場合はガソリン（無鉛レギュラー）を補給してください。

燃料タンクの容量は 3.6 L です。

燃料補給後、燃料タンクのふたをしっかりと閉めてください。

動かしましょう



注意

初めてもしくは長期保管後に使用する場合は慣らし運転を行なうこと
エンジン内部にオイルが行き届く前に高速運転をおこなうとエンジンが壊
れる場合があります。
必ず慣らし運転を約2分間行なってください。



注意

ノズルの変更は必ずトリガーガンのレバーをロックし、
レバーが握れない状態で行ってください。
水が出ている状態でノズルを変更した場合はノズルが壊れます。



＜水道栓を開ける＞

水道栓は全開にしてください。

＜燃料レバーをONにします＞

燃料レバーをON（右端）に合わせてください。



＜チョークを操作する＞

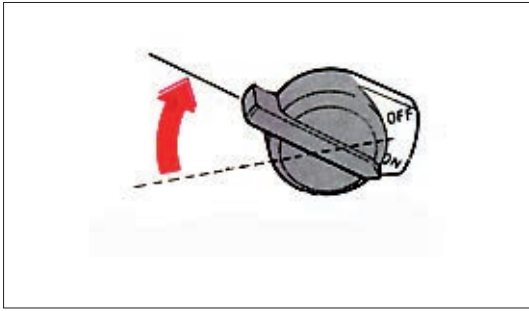
冷たいエンジンを始動させる場合

チョークレバーを左端に合わせてください。

エンジン起動後、回転が落ち着くまでそのまま
保持してください。

温まったエンジンを再始動させる場合

チョークレバーを右端に合わせてください。



<エンジンスイッチを入れる>

エンジンスイッチをONにしてください。



<トリガーガンの安全ロックを解除する>

トリガーガンの安全ロックを手前に引きロックを解除します。

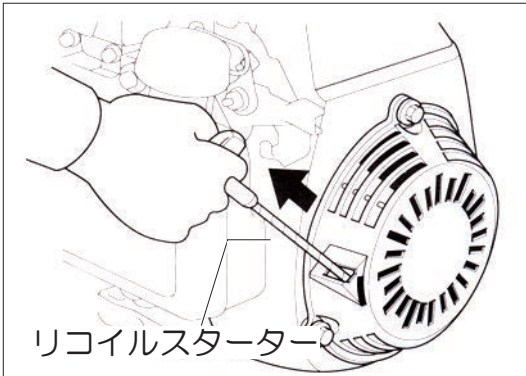
安全レバー

トリガー



注意

エンジンがかかるとトリガーガンから水が吐出します。
スターターを引く際にはノズルを安全な場所へ向けてください。



＜エンジンを始動する＞

トリガーガンのレバーを握りながらリコイルスターターを強く引いてください。



注意

リコイルスターターはゆっくり戻してください。
手を離すと体や部品に接触しケガや損傷を生じます。
作業中はリコイルスターターに触れないでください。
エンジンが壊れる場合があります。

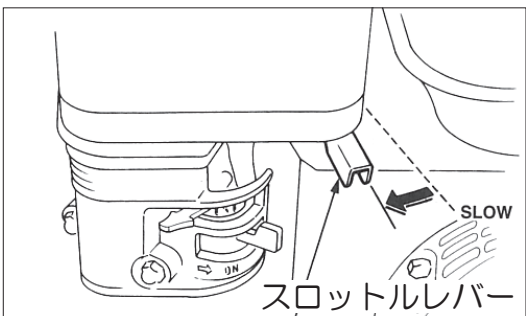


＜チョークを操作する＞

エンジンが温まったら

2～3分間暖気運転を行ないエンジンが温まったら、チョークレバーを右側に移動してください。

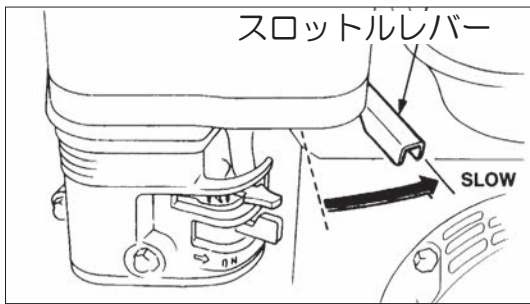
※チョークレバーを左側に合わせた状態で使用を続けると点火プラグが汚れ（かぶり）起動不良が生じます。



＜エンジンの回転数を上げる＞

スロットルレバーをSLOW（右端）からFAST（左端）へ約 1/3 動かしてください。

作業を中断する場合

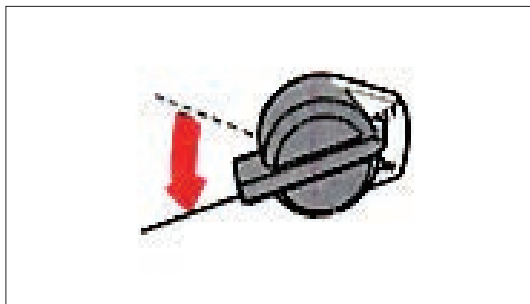


＜エンジンの回転数を下げる＞
スロットルレバーを SLOW（右端）に合わせてください。



＜燃料レバーを OFF にする＞
燃料レバーを OFF（左端）に合わせてください。

※移動・搬送時は必ず燃料レバーを OFF にしてください。



＜エンジンスイッチを切る＞
トリガーガンのレバーをはなし、水を止めてエンジンスイッチを OFF にしてください。



＜トリガーガンの安全ロックをロックする＞
トリガーガンの安全ロックをスライドさせてレバーが握れないようにロックしてください。



警告

作業を中断・終了する際は、必ず安全ロックでトリガーガンのレバーをロックし、レバーを握れない状態にすること
誤って高圧水が噴射され、思わぬ事故につながる可能性があります。
高圧水が誤って人体に向けて噴射された場合、死亡または重症を負う可能性があります。

ため水を使用する場合



水道栓がなくため水を使用する場合は、必ず別売りの自吸用ホースとフィルターを使用してください。



自吸用ホース（注文番号：4.440-270.0）

付属の水道ホースではため水の吸い上げはできません。機械の故障の原因となります。



逆止弁付先端フィルター（注文番号：4.730-012.0）

粗ゴミを取り除きます。更に細かなゴミの混入防止のため給水口取り付け用フィルターを必ず併用してください。



給水口フィルター 100 μ m（注文番号：2.638-270.0）

細かなゴミを取り除きポンプの損傷を防止します。



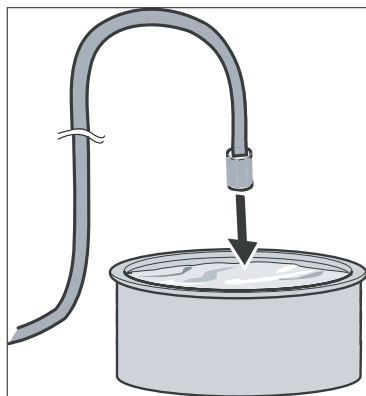
<自吸用ホースへ呼び水※をする>

自吸用ホースに逆止弁付先端フィルターを取り付けてください。ホースを水の中に沈めホース内に水を充填してください。

自吸ホースを本体給水口に取り付けてください。

※呼び水…ホースの中へ水を入れること。

ホースの中に水が入っていないとため水を吸い上げません。



<ホースをため水に入れる>

自吸用ホースの先端をため水に沈めてください。先端フィルターは立てた状態で使用してください。（倒すと水が逆流します）

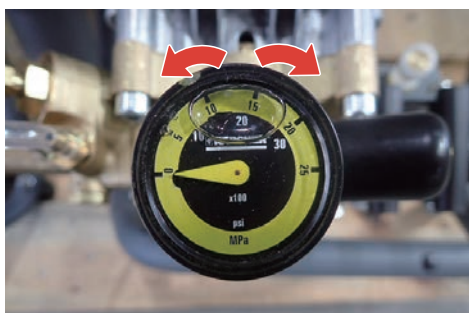


水面と機械との高低差は 1m 以内にしてください。高低差が大きすぎるとため水を吸い上げません。

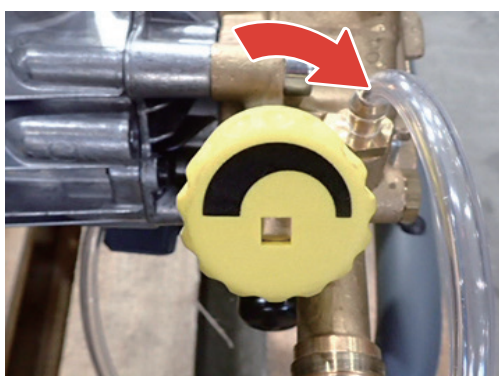
ため水を使う場合、水道圧に比べ低圧側の圧力が低下する為、高圧ホースの長さ、あるいは揚程や水温の条件によっては、ポンプ内圧を開放する為のオーバーフローバルブが作動し、圧力が上下することがあります。

- この場合は圧力調整バルブを調整し、オーバーフローする分を内部に圧力を逃がす調整をする事によって、圧力の上下動を抑止することができます。【対応 1】
- それでも上下動が収まらない場合はノズルサイズを 1 段階大きく変更してください。【対応 2】

どちらの場合も水道圧に比べ最大圧力は若干低下します。

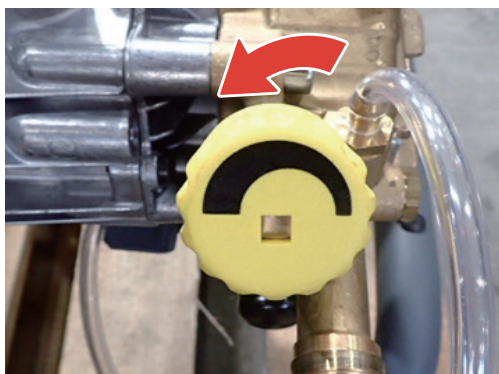


圧力計が上下（脈動）したら、圧力調整バルブを調整してください。



【対応 1】 <圧力調整バルブの調整方法>
圧力調整は、マシン起動（作業時）状態で行ってください。

まず、時計回りに圧力調整バルブを全開まで開けて下さい。



全開まで開けたら、次は逆に反時計回りに徐々に閉めていき、圧力の脈動が無くなる位置まで調整します。



【対応 2】 <ノズルサイズ変更>
ノズルサイズを上げて流量を上げることにより、オーバーフローを抑止し、圧力の上下（脈動）を抑止します。
●推奨ノズル
品番：2.113-007.0（サイズ 42）

洗剤を使用する場合



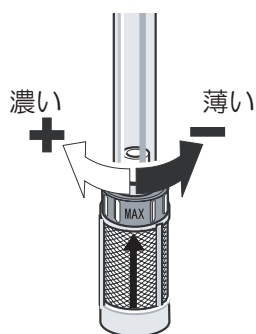
ノズルを洗剤散布用の低圧ノズルに交換してください（口径の大きい方）。

口径の小さいノズル（高圧 15°）では洗剤を散布できません。



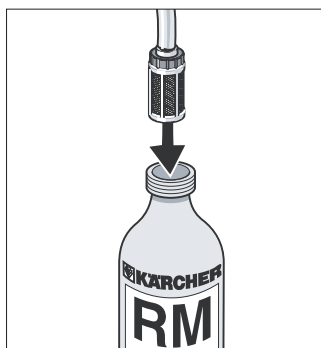
注意

ノズルの変更は必ずトリガーガンのレバーをロックし、レバーが握れない状態で行ってください。水が出ている状態でノズルを変更した場合はノズルが壊れます。



＜洗剤の濃度を調節する＞

洗剤ホースを引き出し、先端のフィルターを回して矢印をフィルター上部の目盛に合わせ、洗剤の濃度を調節してください。



＜洗剤ホースを洗剤に入れる＞

洗剤の濃度を調節後、洗剤ホースを洗剤に入れてください。

※洗剤ホースは容器の底まで入れてください。



＜清掃を開始する＞

エンジンを起動しトリガーガンの安全ロックを解除し、トリガーガンのレバーを握ってください。洗剤が本体内で水と混合されて吐出されます。

効果的な洗浄のしかた

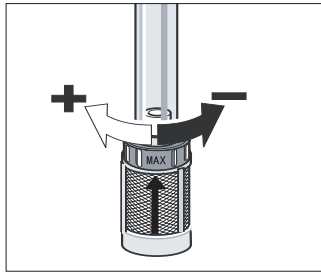
- ①乾いた洗浄面に洗剤を散布します。
- ②洗剤を散布したら1～3分間放置します。
- ③洗剤が乾ききる前に、ノズルを高圧ノズルに変更して高圧水で洗剤と汚れを洗い流してください。



注意

高圧ホースを30m以上にした場合洗剤は出ません。洗剤容器のラベルをよくお読みください。洗浄対象物の製品説明書をよくお読みください。

作業を終了する場合

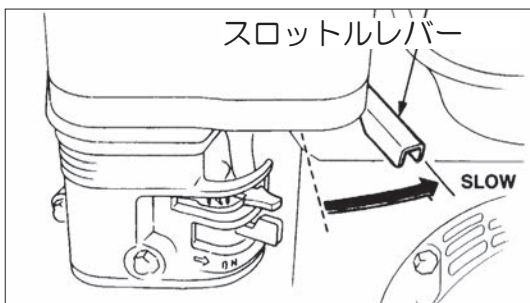


＜洗浄剤ホースのすすぎをする＞

洗浄剤を使用した場合は、洗浄剤ホースのすすぎをしてください。

すすぎの手順

- ①ノズルを低圧広角ノズルにしてしてください。
- ②清水を入れた容器に洗浄剤吸引ホースを入れてください。
- ③約1分間トリガーガンを握り、水を出してホース内とポンプ内をすすいでください。
- ④すすぎが終了したら洗浄剤ホースのフィルターを「-」側に止まるまで回してください。



＜エンジンの回転数を下げる＞

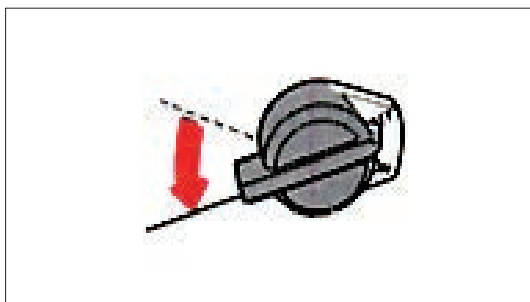
スロットルレバーをSLOW（右端）に合わせてください。



＜燃料レバーをOFFにする＞

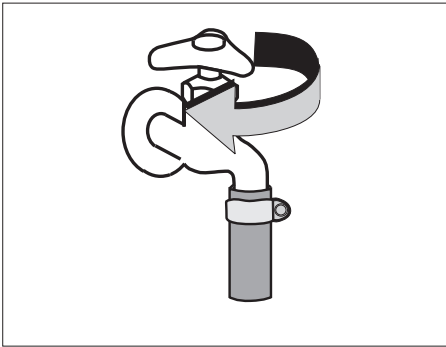
燃料レバーをOFF（左端）に移動してください。

※移動・搬送時は必ず燃料レバーをOFFにしてください。



＜エンジンスイッチを切る＞

トリガーガンのレバーを離し、水を止めてエンジンスイッチをOFFにしてください。



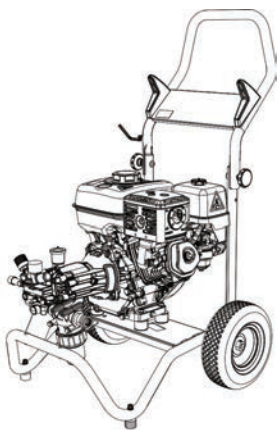
＜水道栓を閉める＞
水道栓を閉めてください。



＜トリガーガンのレバーを握る＞
トリガーガンのレバーを一度握ってください。
本体ポンプに残っている圧力が抜けます。



＜トリガーガンの安全ロックをロックする＞
トリガーガンの安全ロックをスライドさせて
レバーが握れないようにロックしてください。



＜水道ホースと高圧ホースを取り外す＞
本体から水道ホースと高圧ホースを取り外して凍
結しない、ホコリのかからない場所に保管してく
ださい。



警告

作業を中断・終了する際は、必ず安全ロックでトリガーガンのレバーをロックし、レバーを握れない状態にすること
誤って高圧水が噴射され、思わぬ事故につながる可能性があります。
高圧水が誤って人体に向けて噴射された場合、死亡または重症を負う
可能性があります。

冬季・長期間の保管方法



1 か月以上エンジンをかけない場合は燃料の変質による指導不良・運転不良を防止するためにガソリンを全て抜いて保管してください。

ガソリンの抜き取り手順

※ガソリンを受けるための受け皿を別途用意してください。

- ①燃料タンクのガソリンを抜いてください。
- ②燃料バルブ下の燃料カップを外し、ホース内の燃料を抜いてください。
- ③キャブレター側面の燃料バルブを OPEN → CLOSED 側に倒してください。
- ④エンジンを動かしキャブレター内のガソリンを使い切り自然に停止するまで放置してください。



注意

- 火気を近づけないこと
- 必ずエンジンを停止しエンジン本体・マフラーが冷めてからガソリンを抜くこと
- 換気の良い場所で作業すること
- 安定した水平な場所で作業すること
- 燃料をこぼさないように注意すること
万一燃料がこぼれた場合にはきれいにふき取りよく乾かしてください。
- 誤って始動することを防止するため、プラグキャップを取り外した状態で作業すること

凍結防止



冬季はできれば凍結しない屋内に保管してください。
やむをえず凍結の可能性のある場所に保管する場合には必ず外気温度に適した不凍液を注入してから保管してください。
万一凍結した場合は、エンジンをかけずに修理をご依頼ください。
凍結した状態でエンジンをかけるとポンプが壊れます。
凍結による修理は保証の対象外となりますのでご注意ください。

ポンプの凍結防止のため不凍液を使用してください。

用意するもの

- 不凍液注入アダプター（注文番号：9.548-615.0）
- 不凍液 10 L
- 不凍液を入れる容器

不凍液注入の手順（作業は2名で行なってください。）

- ①外気温度に適した不凍液を容器に用意してください。
- ②本体給水口に不凍液注入アダプターを取り付けてください。
- ③不凍液注入アダプターのもう一方の端を不凍液の中に入れてください。
- ④トリガーガンからスプレーランスを取り外してください。
- ⑤トリガーガンの先端を不凍液の入った容器の中に入れてください。
- ⑥エンジンを起動してください。
- ⑦トリガーガンの先端から不凍液が出てきたらエンジンを直ちに停止してください。
- ⑧本体・付属品を凍結しない、ホコリのかからない場所に保管してください。
ポンプ内部にゴミ（細かいほこり、粉塵など）が入ると圧力が上がらなくなります。

次回使用時、不凍液は回収して再利用できます。

<水道水を使用する場合>

- ①エンジンは起動しないでください。
- ②不凍液回収用の容器を用意してください。
- ③水道ホースを本体に取り付けてください。
- ④高圧ホースを本体に取り付けてください。
- ⑤水道ホースを蛇口に接続して水道栓を開けてください。
- ⑥トリガーガンのレバーを握り、不凍液を容器に回収してください。
※不凍液が出ない場合は凍結している可能性があります。エンジンをかけずに修理を依頼してください。
- ⑦回収した不凍液はゴミや汚れをろ過し、濃度を調整して再利用できます。
- ⑧トリガーガンにスプレーランスを取り付け、エンジンを起動し清掃を行なってください。

<ため水を使用する場合>

- ①不凍液回収用の容器を用意してください。
- ②自吸用ホースを本体に取り付けてください。
- ③自吸用ホースのもう一方の端をため水に入れてください。
- ④高圧ホースを本体に取り付けてください。
- ⑤トリガーガンの先を容器に入れてください。
- ⑥エンジンを起動してください。
- ⑦トリガーガンのレバーを握ってください。
- ⑧トリガーガンの先端から出てくる不凍液が清水に切り替わったら直ちにエンジンを停止してください。
- ⑨回収した不凍液はゴミや汚れをろ過し、濃度を調整して再利用できます。
- ⑩トリガーガンにスプレーランスを取り付け、エンジンを再起動し清掃を行なってください。

メンテナンス



注意

メンテナンスを行う場合には必ずエンジンを停止すること
機械の洗浄およびメンテナンス作業の前に、機械を停止してください。
機械とアクセサリーのメンテナンス作業の前に機械やアクセサリーから
圧力を除いてください。

メンテナンス作業はケルヒャーから認定を受けたサービス認定店あるいは
必要な安全基準を熟知した洗浄機器のメンテナンス経験者によって実
施してください。

<フィルター>

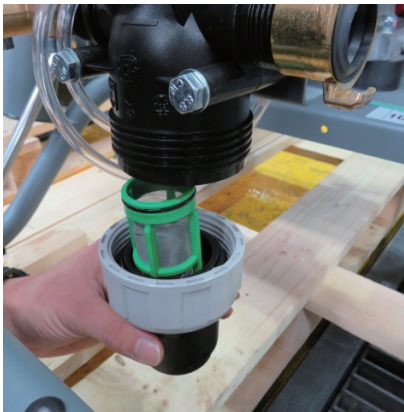


各フィルターの清掃は、作業終了時に毎回必ず行なってください。



<給水口のフィルター清掃>

給水口フィルターの留め具を外します。



フィルターカップを外します。



フィルターを取り出し、流水ですすぎ洗い
してください。

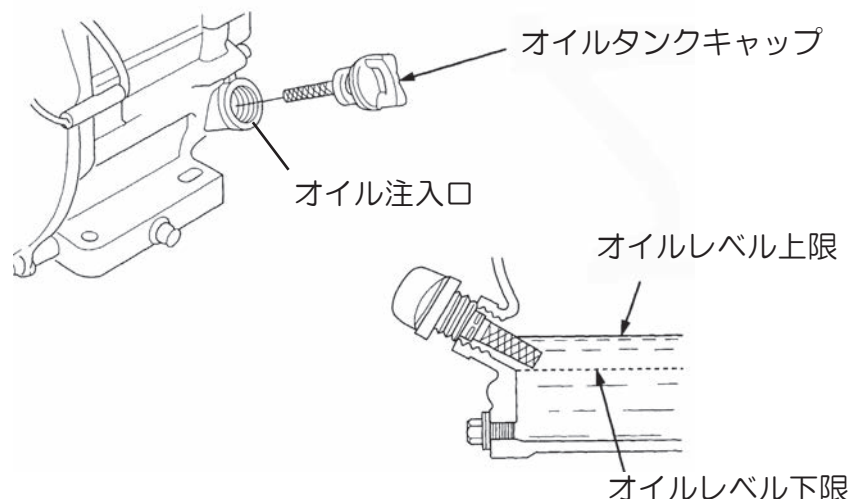
フィルターの汚れがひどいもしくは、
パッキンが破損している場合は新しい
フィルターと交換してください。

フィルター注文番号：6.414-053.0

<エンジンオイル>

オイル量のチェック

※オイル量をチェックする際は本体を水平な場所に置いてください。
オイルタンクキャップを取り外し余り布などで付いているオイルを拭き取ってください。
そのままオイルタンクキャップをオイル注入口に挿入しオイル量をチェックしてください。
オイル量が少ない場合は、オイル注入口の下端までオイルを補充しオイルタンクキャップを元通り締めてください。



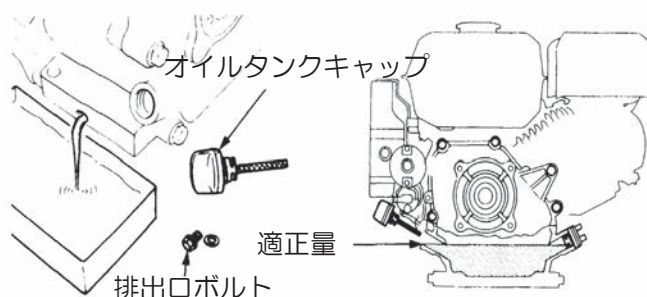
オイルの交換

(交換の目安：初回 10 作業時間後 その後 50 作業時間毎)

※オイル交換はエンジンが温まっている間に行なってください。

使用済みのオイルを入れる容器をオイル排出口の下に置いてください。
フィルターキャップ、排出口ボルトを取り外し完全にオイルを排出してください。
排出された使用済みのオイルは自治体の規定に従って処分してください。
排出口ボルトを締めて、指定オイルを適正量まで補給してください。
オイルタンクキャップを締めてください。

※エンジンオイルの注文番号は補修部品リストをご確認ください。



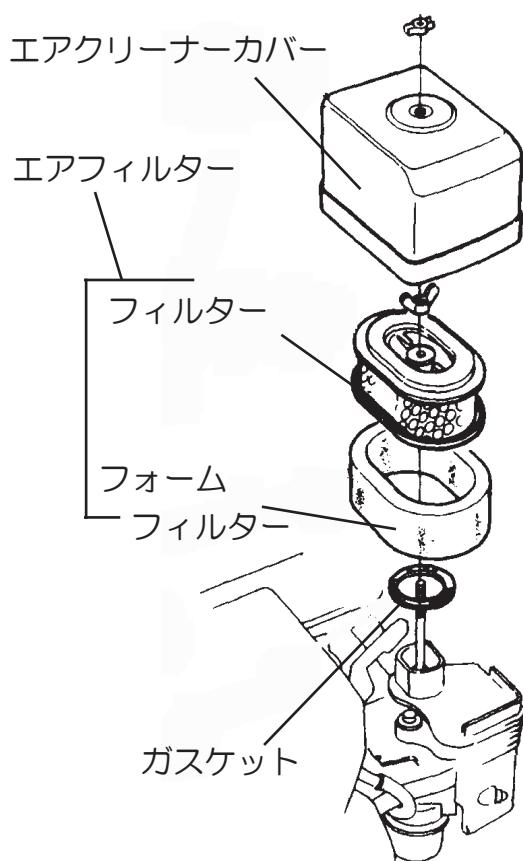
注意

オイル量が多すぎたり少なすぎると、エンジンが壊れる恐れがありますのでご注意ください。

<エアクリナー>

※粉塵の多い場所で使用する場合は毎日点検してください。

※通常的环境下で使用する場合は25作業時間毎に点検してください。



エアクリナーカバーの蝶ナットを外して、エアクリナーカバーを取り外してください。

エアフィルターの蝶ナットを外して、エアフィルターを取り外してください。

フィルターから、フォームフィルターを取り外してください。

フィルターとフォームフィルターが損傷していないかどうかを確認してください。汚れが著しい場合や、損傷している場合は交換してください。

フィルターとフォームフィルターが汚れている場合は、圧縮空気を内側から噴きつけてホコリを取り除いてください。



注意

エアフィルターを使用しない、あるいは損傷のあるエアフィルターを使用していると、ホコリなどがエンジンに入り込み、エンジンの劣化につながります。

この場合は保証修理の対象にはなりませんのでご注意ください。

<ポンプ>

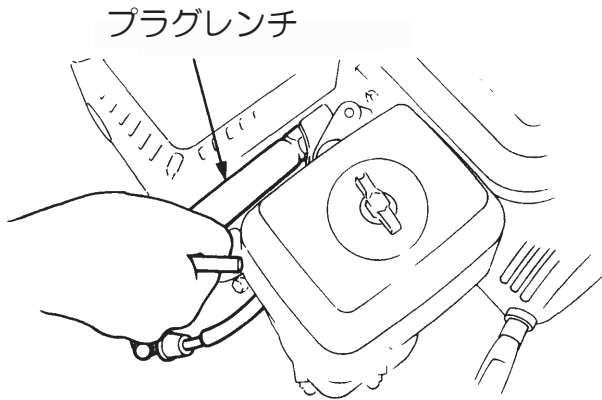
ポンプオイル交換

400 作業時間毎に交換をケルヒャー 業務用製品コールセンターへ依頼してください。

<プラグ>

※プラグレンチを用意してください。

※ 100 作業時間毎に、プラグを取り外してください。



プラグレンチでプラグを取り外してください。
プラグが磨耗していたり、焼けすぎている場合は交換してください。

■指定プラグ：NGK BPR6ES

プラグの金属部分をエンジンに接触させてリコイルスターターを引っ張り、プラグ先端でスパークを発生させているか確認してください。

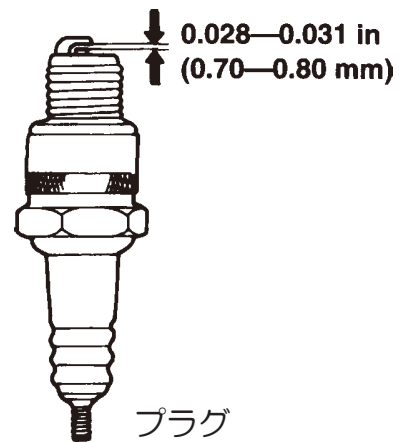
スパークが発生しない場合は新しいプラグに交換し再度確認してください。

新しいプラグを装着してもスパークが発生しない場合は最寄のホンダ汎用にお問い合わせください。

プラグが汚れている場合は、ワイヤーブラシで汚れを取り除いてください。

プラグのコイルの間隔を測って、0.7～0.8 mmになるように調整してください。

プラグに取り付けられているワッシャーを確認し亀裂等がある場合はプラグを交換してください。



プラグを手で止まるまでねじ込んでください。

プラグレンチを用い、

■新しいプラグの場合は 1/2 回転締め込んでください。

■古いプラグの場合は 1/8 ～ 1/4 回転締め込んでください。



注意 プラグは大変熱くなっています。ヤケドに注意してください。

トラブル対応

下記のことを試しても問題が解決しない場合はケルヒャー サービスフロントまでご連絡ください。

このような時	原因	対策
うごかない！	ガソリンが入っていない	ガソリンを補給してください。
	エンジンオイルが少ない	オイルを補給してください。
	チョークの位置が間違っている	チョークレバーを左端に合わせてください。
	スロットルレバーの位置が間違っている	スロットルレバーをFAST（左端）に動かしてください。
	洗浄機の中に圧力が残っている	トリガーガンを握り、圧力を抜いてください。
水がまったく出ない！	水道栓が開かれていない	水道栓を開いてください。
	給水口内部のフィルターが詰まっている	フィルターを取り外し清掃してください。
	ノズルが詰まっている	スプレーランスからノズルを取り外し、細い針金などでノズルの穴からゴミを取り除いてください。または新しいノズルと交換してください。

このような時	原因	対策
高圧が出ない！	水がさえぎられている	水道ホースに、ねじれ、漏れ、損傷がないか確認してください。
	十分な水量が供給されていない	水道栓を全開にしてください。
	ノズルが低圧広角（洗剤用）ノズルになっている	高圧ノズルに変更してください。
圧力が上下する！	十分な水量が供給されていない	水道栓を全開にしてください。 また、水道ホースにねじれ、漏れ、損傷がないか確認してください。
	給水口内部のフィルターが詰まっている	フィルターを取り外し清掃してください。
	本体内、高圧ホース内、水道ホース内に空気が混入している	水道ホースの接続部分を確認し緩みがないことを確認してください。 スプレーランスを取り付けない状態でトリガーガンのレバーを握り、水流が一定になったらスプレーランスを接続して使用してください。
	ノズルが詰まっている	スプレーランスからノズルを取り外し、細い針金などでノズルの穴からゴミを取り除いてください。 または新しいノズルと交換してください。

このような時	原因	対策
洗浄剤が出ない！	ノズルが高圧ノズルになっている。	ノズルを低圧広角ノズル(洗浄剤用)に変えてください。
	洗浄剤ホースに穴、ひび割れがある	ケルヒャー 業務用製品コールセンターにご連絡ください。
	洗浄剤ホースが詰まっている	ホースに水を通し、詰まりを取り除いてください。
	洗浄剤ホースのフィルターが詰まっている	温水でフィルターを掃除してゴミを取り除いてください。
	洗浄剤が濃すぎる	洗浄剤を薄めてください。ケルヒャー純正商品が最適です。
	ノズルが詰まっている	スプレーランスからノズルを取り外し、細い針金などでノズルの穴からゴミを取り除いてください。または新しいノズルと交換してください。
ポンプの音がうるさい！	ポンプに空気が混入している	水道ホースの接続部分を確認し緩みがないことを確認してください。スプレーランスを取り付けない状態でトリガーガンのレバーを握り、水流が一定になったらスプレーランスを接続して使用してください。

このような時	原因	対策
水道ホースから水もれしている！	水道ホースの接続が緩んでいる	接続をしっかり締めてください。
スプレーランス接続部から水もれしている！	ノズルが正しく取り付けられていない	しっかり取り付けなおしてください。
	スプレーランスがトリガーガンに正しく取り付けられていない	しっかり取り付けなおしてください。
	スプレーランス接続部のOリングが損傷している	スプレーランス接続部のOリングを交換するか、または新しいスプレーランスを購入してください。
高圧ホース接続部から水もれしている！	高圧ホース接続部のOリングが損傷している	高圧ホース接続部のOリングを交換するか、または新しい高圧ホースを購入してください。
トリガーガンから水もれしている！	トリガーガンが破損している	新しいトリガーガンを購入してください。
ポンプから水もれしている！ (1分間に10滴までの水もれは許容範囲内です)	高圧ホースの接続が緩んでいる	接続を確認してください。
	サーモバルブが作動している	サーモバルブは自動的に解除されます。
	高圧パッキンが損傷している	業務用製品コールセンターにご連絡ください。
オイルがもれている！	オイルパッキンが詰まっている	業務用製品コールセンターにご連絡ください。

ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。ケルヒャー ジャパン株式会社では、十分なアフターサービスを提供するために、当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。



<ユーザー登録いただいたお客様限定>

ご購入日から1年間の保証期間を
ご購入から2年間に延長いたします。

そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。ぜひご登録ください。

<ユーザー登録方法>

ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。

サービス - 業務用製品ユーザー登録

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー（製造番号）が必要です。
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
- S/N：××××××の数字がシリアル番号です。

<保証>

保証規定については、同梱の保証書をご確認ください。

弊社 Web サイトで最新の情報を入手頂き、お問い合わせください。

<お問い合わせ先>

ケルヒャー ジャパン株式会社 業務用製品コールセンター

TEL：045-777-7410

登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。

尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

当社の個人情報保護の取り組みについては、ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトでご覧いただけます。

お問い合わせ先

<業務用製品コールセンター>

業務用製品の故障、修理についてのお問い合わせは、ケルヒャー業務用製品コールセンターへご連絡ください。

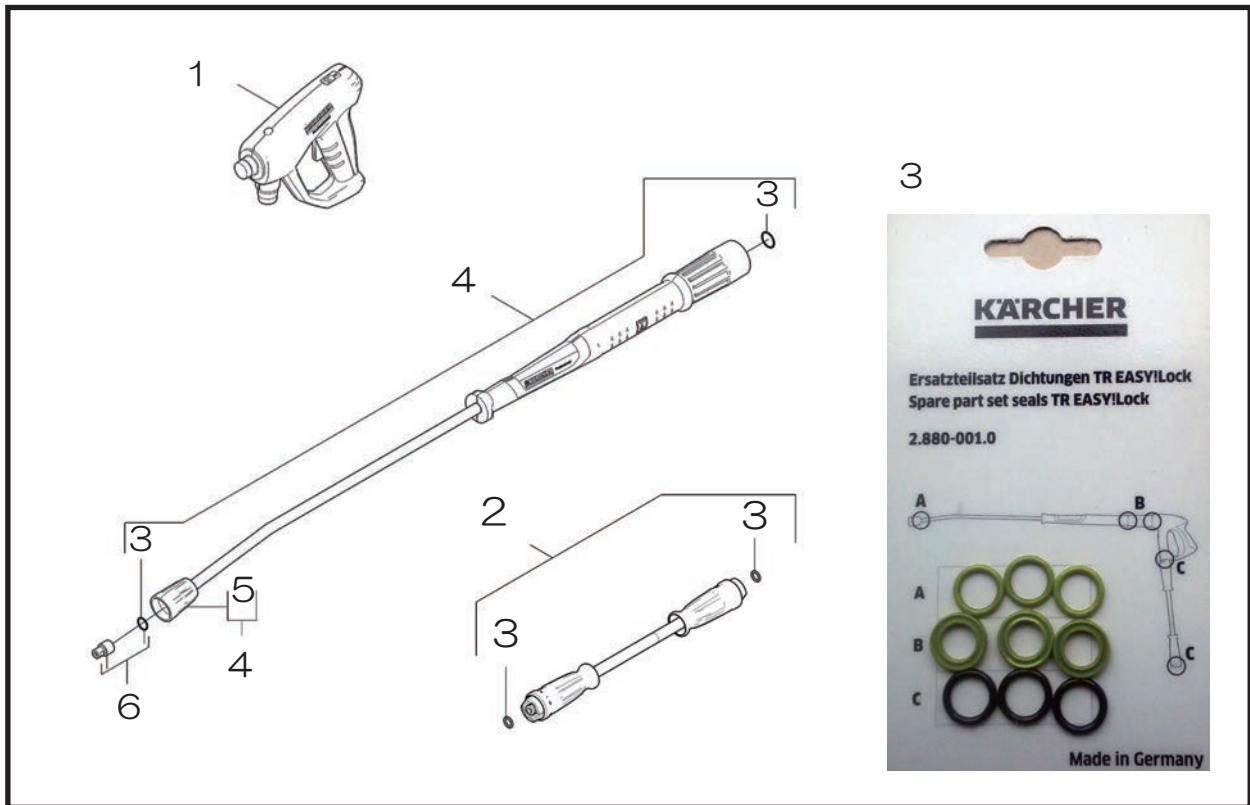
受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00

（祝祭日、当社休日を除く）

TEL：045-777-7410

FAX：045-438-1320

補修部品



番号	名称	注文番号	
1	トリガーガン	4.118-005.0	
2	高圧ホース	6.110-030.0	
3	Oリングセット (9個組)	2.880-001.0	
3C	高圧ホース用Oリング (5個組)	2.880-990.0	
4	スプレーランス	4.112-006.0	
5	ノズルチップ固定ホルダー	4.112-011.0	
6	高圧ノズル	2.113-021.0	高圧洗浄用 洗浄剤用
		2.113-020.0	
	エンジンオイル	6.288-050.0	
	ポンプオイル	6.288-050.0	

※仕様変更等により商品の形状と図が一致しない場合があります。

※注文番号は予告無く変更する場合があります。

修理のご用命は弊社ホームページをご覧ください、
申し込みフォームからご依頼ください。

https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html

この取扱説明書の製品は、「中・大型機」になります。
弊社支店への持ち込み修理と出張修理サービスが対象です。
※修理費用については予告なしに変更する事があります

お電話での修理のお問い合わせは
業務用製品コールセンター（修理受付）

受付時間 9：00～17：00

月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）

TEL：045-777-7410

アクセサリーの取り付けについて

EASY!Lock 対応のマシン、アクセサリーに EASY!Lock 非対応のアクセサリーを取り付ける場合は、別途アダプターが必要になります。必要に応じてアダプターをご購入ください。

EASY!Lock 対応	アダプター注文番号	EASY!Lock 非対応のアクセサリー
EASY!Lock 高圧ホースと、EASY!Lock 非対応の高圧ホースを延長する場合		
		
4.111-029.0		
EASY!Lock 高圧ホースを、EASY!Lock 非対応のトリガーガン・機械に取り付ける場合		
		
4.111-030.0		
EASY!Lock スプレーランスを、EASY!Lock 非対応のトリガーガンに取り付ける場合		
		
4.111-031.0		
EASY!Lock トリガーガンに、EASY!Lock 非対応の高圧ホース差し込みタイプを取り付ける場合		
		
4.111-032.0		

EASY!Lock 対応	アダプター注文番号	EASY!Lock 非対応のアクセサリ
EASY!Lock トリガーガンに、EASY!Lock 非対応のスプレーランスを取り付ける場合		
	 4.111-033.0	
EASY!Lock トリガーガンもしくは機械に、EASY!Lock 非対応の高圧ホースを取り付ける場合		
	 4.111-034.0	
EASY!Lock アクセサリを、EASY!Lock 非対応のスプレーランスに取り付ける場合		
	 4.111-035.0	
EASY!Lock スプレーランスに、EASY!Lock 非対応のアクセサリを取り付ける場合		
	 4.111-036.0	

<アダプターの接続方法の目安>

